

---

2020 SLカートミーティング

# SUGOカートレースシリーズ

---

特別規則書

## 大会公示

本シリーズは「FIA国際モータースポーツ競技規則」と「国際カート規則」ならびにそれに準拠した「2020年JAF国内カート競技規則集」とその付則、ならびに2020年SLメンバーズブック記載の「2020年SLカートミーティング規則書」ならびに「2020年SLカートミーティング車両規定」と本規則書に従って開催される。



# 第1章 大会開催に関する事項

## 第1条 競技会の名称

2020 SLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ

## 第2条 競技種目

第1種競技車両によるスプリントレース

## 第3条 競技格式・種目・クラス

地方選手権	J A F カテゴリー	SL認定
FS-125	FS-125	×

制限付	J A F カテゴリー	SL認定
MAX	FS-125	×

クローズド	J A F カテゴリー	SL認定
YAMAHA TRYカデット	FPJカデット	○
YAMAHA カデットオープン	FPJカデット	○
YAMAHA TIAジュニア	FP3	○
YAMAHA TIA	FP3	○
YAMAHA SS	FP2	○
YAMAHA スーパーSS	FP2	○
SUGO FDオープン	リブレ	×
PRD AVANTI	リブレ	×

模擬レース	J A F カテゴリー	SL認定
TRY模擬レース	なし	×

## 第4条 開催場所・オーガナイザー・日程について

### 1) 開催場所

スポーツランドSUGO 西コース (全長 984m)

### 2) オーガナイザー

SSC : 菅生スポーツクラブ / (株)菅生

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生 6-1

TEL 0224-83-3116 FAX 0224-83-5545

### 3) 日程

シリーズ (選手権)		SUGOカートレースシリーズ											
格 式	開催日	地方選手権	制限付	クローズド								模擬	
		FS-125	MAX	PRD Avanti	YAMAHA ス-P-SS	YAMAHA SS	SUGO FDオープン	YAMAHA TIA	YAMAHA TIAオープン	YAMAHA オープン	YAMAHA TRYカデット	TRY	TRY 以外
第1戦	3月29日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第2戦	5月17日	△	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第3戦	6月28日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第4戦	8月16日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第5戦	9月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
第6戦	11月8日	△	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

## 第5条 競技組織委員会および審査委員会

組織委員会および審査委員会は大会特別規則書に記載する。

## 第6条 競技会競技役員

競技役員は各大会特別規則書に記載する。

## 第7条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要事項はインフォメーションによって通達される。

## 第2章 競技会参加に関する事項

### 第8条 参加申込受付期間

受付期間 【大会開催日の1週間前まで厳守】

	開催日	エントリー期間
第1戦	3月29日	3月1日～3月22日
第2戦	5月17日	4月19日～5月10日
第3戦	6月28日	5月31日～6月21日
第4戦	8月16日	7月19日～8月9日
第5戦	9月27日	8月30日～9月20日
第6戦	11月8日	10月11日～11月1日

エントリー期間内に参加料が支払われない場合、**延滞料として1,000円**を申し受ける。

エントリーの受付場所

スポーツランドSUGO 西コース 大会事務局  
〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
TEL 0224-83-3116 FAX 0224-83-5545

**Webエントリー：SUGOホームページ SUGOカートレースシリーズ内**

参加申込受付方法

参加申し込みは下記のいずれかの手法にて手続きをする事。

①Webエントリー

必要事項を漏れなく記入し登録すること。

②持ち込み

所定の参加申込書に必要事項を漏れなく記入し、**参加料プラス事務手数料1,000円**を添えて大会事務局へ直接申し込みする。

③現金書留

所定の参加申込書に必要事項を漏れなく記入し、**参加料プラス事務手数料1,000円**を同封して現金書留にて、オーガナイザー宛に郵送する。

**締め切り後のエントリーは如何なる理由があろうとも一切受け付けられません。**

### 第9条 参加資格

- 1) 下記の通り、**2020年に有効なJAFカートドライバーライセンス**もしくは、**SLメンバーズカード**ならびに**2020年SLメンバーズブック**、**SLO安全協力会加入証**を所持し、大会事務局へ提出すること。

クラス	年齢（当該年度）	JAFカートライセンス	SLメンバーズカード	SLメンバーズブック
YAMAHA TRYカデット	小学2年生以上	×	SLカデット or SL-B	要提出
YAMAHA カデットオープン		×	SLカデット or SL-B	要提出
YAMAHA TIAジュニア	小学4年生～中学生	×	SLカデット or SL-B以上	要提出
SUGO FDオープン	小学5年生以上	×	SL-B以上	要提出
YAMAHA TIA	小学6年生以上	×	SL-B以上	要提出
YAMAHA SS		×	SL-B以上	要提出
YAMAHA スーパーSS	30歳以上	×	SL-B以上	要提出
PRD AVANTI	18歳以上	JAF-国内B以上	SL-B以上	×
MAX	15歳（中学3年生）以上	JAF-国内B以上	×	×
FS-125(地方選手権)	13歳以上	JAF-国内Bor国際C/J	×	×
TRY模擬レース	-	×	※ドライバーか親権者が所持	×

※レース終了後、自動計測装置(トランスポンダー)返却時に、**SLメンバーズブック**、**SLO安全協力会加入証**を返却する。

※SLメンバーズカード、SLO安全協力会加入証は、WEB上に表示でも可

- 2) **満20歳未満のドライバーおよびピットクルーは親権者の承諾書を提出すること。**

## 第10条 レース参加に必要な傷害保険への加入義務

本大会へ出場されるドライバーは、傷害保険(※1)の加入が義務付けられる。

※1 SLO(一般社団法人カートスポーツ機構)が推進する「SLO安全協力会加入証」

「スポーツ安全保険」とは東京海上日動火災株式会社を幹事会社とする損害保険会社9社との間に、傷害保険を一括契約した補償制度です。

**加入の期間：毎年4月1日午前0時から翌年3月31日午後12時まで。**

公式練習より大会終了までに関連して起こった死亡、負傷、その他のすべての事故で参加者および指名したピット要員の受けた損害について、オーガナイザー、関係ショップや他の参加者などを非難したり、責任追及をしないことを誓約の上参加すること。オーガナイザーは理由を明示することなく参加を拒否することが出来る。

## 第11条 参加料およびピット登録料

格 式	クローズド								制限付 MAX	地方選 FS-125	模擬	
	YAMAHA スバル-SS	YAMAHA SS	SUGO FDオープン	YAMAHA TIA	YAMAHA TIAジュニア	YAMAHA カデットオープン	YAMAHA TRYカデット	PRD Avanti			TRY ジュニア	TRY カデット
WEB参加料	10,600円	10,600円	10,600円	10,600円	9,600円	9,600円	9,600円	10,600円	12,700円	12,700円	4,900円	6,900円
持ち込み・現金書留	オンラインエントリー以外の方は参加料プラス事務手数料1,000円必要											
ドライバー保険料(1名につき)	年度に有効なSLO安全協力会加入が義務付けとなります。								※SLO安全協力会未加入の方は別途1,500円			
ピットクルー登録料(1名につき)	1,500円 ※SLOスポーツ安全協会保険加入者は不要											

※ピットエリア内で作業をする方は、必ずピットクルー登録をすること。

ピットクルーは、ドライバー1名につき2名以内とする。

※「SLO安全協力会加入証」加入ドライバー、ピットクルーは参加料・登録料のみ。

※保険は「ヤマハイイベント補償制度」を使用する。

## 第12条 レースの成立

制限付クラスおよびクローズドクラス共に**参加台数3台以上で成立**とする。

地方選手権クラスは**参加台数5台以上で成立**とする。

参加台数が3台未満の場合は、当該クラスを不成立とする。不成立となった場合、参加料は返金される。

## 第13条 参加出走台数

予選、決勝ヒートグリット数は最大34台とする。

各クラスの参加台数が10台に満たない場合、またはオーガナイザーが混走を指定した場合は他のクラスとの混走になる場合がある。ただし、この場合の賞典についてはクラス別とする。

但し下記クラスは、**基本的に混走**とする。(賞典別)

①「YAMAHA TIA」「SUGO FDオープン」

②「YAMAHA TRYカデット」「YAMAHA カデットオープン」

## 第14条 参加受理と参加拒否

- 1) 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知される。
- 2) 参加拒否された申込者に対しては参加料が返還される。
- 3) 参加を受理された後、参加を取り消す申込者に参加料は返還されないものとする。

## 第3章 競技に関する事項

### 第15条 競技規定

競技に関する規定はすべてSLカートミーティング規則書(2020年SLメンバーズブック内)、および2020年JAF国内カート競技規則集に準ずるものとする。

地方選手権に関しては、2020年全日本選手権統一規則(FS-125部門)、および2020年JAF国内カート競技規則集に準ずるものとする。

### 第16条 参加車両

競技に使用するシャーシ、エンジン、タイヤ等はすべてSLカートミーティング車両規定(2020年SLメンバーズブック内)、ならびに2020年JAF国内カート競技車両規定(2020年JAF国内カート競技規則集内)に準ずるものとする。

「FS-125」は、2020年全日本/地方/ジュニアカート選手権統一規則内「**全日本カート選手権FS-125部門適用車両規定**」に準ずる。

「MAX」は、(株)栄光が発行する「**ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2019 MAX**」に準ずる。

「PRD AVANTI」は、(株)ナガハラサービス(CRG JAPAN)が発行する「**2019 PRD AVANTI 車両規定**」に準ずる。

「TRY持ち込み」車両は、「**YAMAHA TRYカデット**」車両規定に準ずること。

## 第17条 自動計測装置（トランスポンダー）

- 1) 参加者は、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置（トランスポンダー）を使用しなければならない。  
万が一破損、紛失した場合、理由の如何にかかわらず弁償すること。  
※高価な計測装置につきご理解賜りますようお願いいたします。
- 2) 貸し出した自動計測装置（トランスポンダー）に不具合がおきた場合、交換可能な時間を判断し、別な自動計測装置（トランスポンダー）に交換する。その場合のゼッケン番号は変更しない。
- 3) 自動計測装置（トランスポンダー）は競技会当日に配布する。  
また、競技終了後すみやかに自動計測装置（トランスポンダー）を返却すること。

## 第18条 ゼッケンプレート及びナンバー（文字色）について

各クラスのゼッケンプレート色ならびにナンバー文字色は下記の通りとする。

クラス	ゼッケン色	クラス	ゼッケン色
地方選手権 FS-125	黄（黒文字）	YAMAHA TIA	黄（黒文字）
MAX	黄（黒文字）	YAMAHA SS	黄（黒文字）
YAMAHA TRYカデット	緑（白文字）	YAMAHA スーパーSS	白（黒文字）
YAMAHA カデットオープン	白（黒文字）	SUGO FDオープン	白（黒文字）
YAMAHA TIAジュニア	青（白文字）	PRD AVANTI	黄（黒文字）

ゼッケンナンバー及びバックパネルはドライバーが準備すること。

- 1) カート車両の前後およびサイドボックス両側に取り付けること。
- 2) **ゼッケンは2020シリーズを通して固定ゼッケンとする。但し、各クラス2019シリーズランキング5位までの入賞者はオーガナイザー指定のゼッケンを装着することが出来る。なお、対象者が不出場又は番号指定の場合は空き番号となる。**
- 3) ランキング外のゼッケンナンバーについては希望ゼッケンをオーガナイザーに申請し、先着順に決定する。  
申請がない場合はオーガナイザーが決定する。  
なお、ゼッケン番号は**2桁まで**とする。

### 《参考》 2020年 競技番号の指定（ゼッケン）表

YAMAHAスーパーSS

1	菅原 伸
2	伊勢屋 貴史
3	小阪 寛幸
4	原田 大助
5	高橋 豊晃

SUGO FDオープン

1	吉田 海人
2	迫 成幸
3	廣瀬 公仁
4	横山 未紀
5	渡辺 憲一郎

YAMAHA SS

1	五十嵐 文太郎
2	小林 利徠斗
3	島貫 結季
4	高橋 英義
5	石山 京也

YAMAHA カデットオープン

1	細越 一颯
2	高田 陽大
3	木島 虎太郎
4	大沼 拓斗
5	鈴木 悠太

YAMAHA TIA

1	三條 太輔
2	松田 智明
3	遠藤 剛
4	川村 慧
5	佐山 椋太

## 第19条 ブリーフィング

参加ドライバーはブリーフィングに出席すること。  
ブリーフィングに出席しない場合ペナルティの対象となる。

## 第20条 レース方法

レースはタイムトライアル、予選**2ヒート**、決勝1ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。

## 第21条 公式練習

「JAF 国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章23条」に基づき公式練習を実施する。  
すべてのドライバーは公式練習に参加しなければならない。  
また、ピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した車両やダミーグリッドに集合し、やむを得ず出走することが出来なかった場合、進行長が認めたものは公式練習に参加したものと認められる。

**ピットインおよびピットエリアの作業は認められる。**

## 第22条 タイムトライアル

- 1) タイムトライアルは1周計測で行うものとする
- 2) 走行順はゼッケン順とし、ゼッケンの一番若い番号と一番多い番号のチームでジャンケンをし、昇順もしくは降順を決定する。
- 3) **正式結果はタイムの早い順とし、予選各ヒートのグリッドが決定する。**
- 4) すべてのドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。  
タイムトライアルに参加できない場合は、タイムトライアル失格となり、予選ヒートは最後尾スタートとなる。
- 5) 押し掛け始動（エンジン始動）の補助は、1コーナー両側に置かれたパイロンとパイロンを結ぶ線までとし、それを超えて補助を続けた場合は、ペナルティを課せられる場合がある。
- 6) タイムトライアルが開始されてからは、途中でピットインすることは認められない。ピットロードに進入したカートは、すみやかにパルクフェルメに進み、車検場で検査を受けること。**その場合の再出走は認められない。**

## 第23条 予選ヒート

- 1) 予選ヒートは2ヒート制とする（地方選手権は除く）
- 2) 予選ヒートのスターティンググリッドは、**両ヒートともタイムトライアルの記録内最速タイム順に決定される。**
- 3) **各予選順位に応じて下記の通りポイントを与える。**

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位
Pt	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
順位	16位	17位	18位	19位	20位	21位	22位	23位	24位	25位	26位	27位	28位	29位	30位
Pt	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
順位	31位	32位	33位	34位											
Pt	31	32	33	34											

- 4) 予選ヒートで複数台リタイヤが出た場合、周回数が多い方が上位とする。
- 5) 予選ヒートの周回数

クラス	周回数
地方選手権 FS-125	15周
MAX	各10周 2ヒート
PRD AVANTI	
YAMAHA スーパーSS	
YAMAHA SS	
YAMAHA TIA	
SUGO FDオープン	
YAMAHA TIAジュニア	各8周 2ヒート
YAMAHA カデットオープン	
YAMAHA TRYカデット	

## 第24条 決勝

- 1) 予選を通過した選手は、すべて決勝に出場できる。
- 2) 決勝ヒートのスターティングポジションは、**各予選ヒートのポイントを合算し、ポイントの少ない順からグリッドを決定する。**  
同ポイントの場合はタイムトライアルの順位を採用する。
- 3) 予選ヒートで複数台リタイヤが出た場合、周回数が多い方を上位とする。
- 4) **決勝ヒートのスタート整列はダミーグリッドより実施する。**
- 5) 決勝ヒートの周回数

クラス	周回数
地方選手権 FS-125	20周
MAX	18周
PRD AVANTI	16周
YAMAHA スーパーSS	
YAMAHA SS	
YAMAHA TIA	
SUGO FDオープン	
YAMAHA TIAジュニア	
YAMAHA カデットオープン	12周
YAMAHA TRYカデット	

## 第25条 スタート

- 1) 全クラス、スタート方式はローリング（2列の隊列）スタートとする。  
フォーメーションラップ中のドライバーは低速走行しイエローラインへ向かうこと。  
ポールポジションとセカンドポジションのドライバーは、フォーメーションラップでは一定のスピードを維持しなければならない。
- 2) スタート補助（押し掛けサポート）は、1コーナー両側に置かれたパイロンとパイロンを結んだラインまでとする。
- 3) **カートの隊列が正規の順列でスタートライン25m手前に引かれたイエローライン前において加速していない事を確認した時スターターはスタートの合図を送る。**  
これに違反した場合ペナルティが課せられる場合がある。
- 4) フォーメーションラップ開始後、スタート信号にレッドライトが点灯され、隊列が整ったと判断した場合、レッドライトを消灯してスタート合図とする。  
スタートができずフォーメーションラップをさらに1周行う場合はレッドライトの点灯を続ける。
- 5) **すべてのクラスにおいて、2列の隊列を整える白線（レーン）を踏んだり、はみ出さないよう注意すること。**  
**スタート合図後、白線（レーン）をカットしても問題ない。**
- 6) フォーメーションラップ中の追い越し禁止（隊列復帰禁止）区間は、9コーナー入口看板前（両脇赤パイロン設置）からスタートラインまでとし、かつイエローライン（スタートライン手前25mライン）までは加速してはならない。  
追い越し禁止（隊列復帰禁止）区間の始まりは、9コーナー入口看板前（両脇赤パイロン）が目印とする。
- 7) フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れ、白地に赤のバツテンのボード表示された者、およびフォーメーションラップ中にピットインした者と周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。

## 第26条 暖気エリアについて

SUGOシリーズ参加車両の暖機運転指定場所については公式通知にて案内する。

※ パドック内ではエンジン始動確認のみ認める。

【エンジンの始動確認とは】

**エンジンが始動するかの確認のことを指し、アクセルをおおる行為、およびキャブセッティングは禁止とする。**

## 第27条 その他競技に関する事項

- 1) コース上における再スタートや点検は自分自身で行わなければならない。また、カデットおよびジュニアクラスにおいても原則としてオフィシャルの援助はないものとする。これらのクラスにおいては（クラッチ付）方向転換は認められるが、カートから降りなければならない状況の時は、オフィシャルにより排除される。また、危険回避のためオフィシャルが援助してコース復帰または排除する場合がある。
- 2) ピットインする場合はピットロードを必ず徐行しなければなりません。  
徐行を怠った場合や危険な走行はペナルティを課せられることがあります。
- 3) ピットサインが出せる位置は、指定されたサインエリアのみとし、指定のピットパスを所持するピットクルーのみとする。  
また、ローリングの隊列がコースインした時から、隊列がスタートを切って1コーナーを過ぎるまで、ピットクルーのサインエリアへの立ち入りは禁止とする。
- 4) ドライバーサインを怠ったものに対し、注意、警告する場合がある。
- 5) **パドック内でのカート走行はすべて禁止とする。（カートスポーツ走行時も含む。）**

## 第28条 レースの中断

「JAF国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第9章 第35条「レースの中断」に準じ、競技中に赤旗が提示された場合は、一旦競技を中断する。赤旗は各ポストにて提示される。

【公式練習・タイムトライアル】

全てのドライバーはただちに競技を中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる状態で徐行し、**ピットロード作業エリア**で停止すること。

コースクリアになり次第、再スタートする。その際のスタートはピットロードからとする。

【予選ヒート・決勝ヒート】

全てのドライバーはただちに競技を中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる状態で徐行し、**ホームストレート上左側**に停止すること。

コースクリアになり次第、再スタートする。その際のグリッドは、赤旗提示週の1周前の順位順とし、ローリングスタート方式とする。

オフィシャルの指示があるまでピットクルーはグリッド上への介入および車両の整備を行なってはならない。

## 第29条 レース終了

- 1) レースの順位1位のドライバーがフィニッシュライン通過後2分以内にカートが同ラインを通過したドライバーに対しチェッカーフラッグが振られる。
- 2) レース終了後のダブルチェッカーにはペナルティが課せられる。

## 第30条 完走

完走とは、1位のドライバーがフィニッシュラインを通過後2分以内にカートが自力でフィニッシュラインを通過して、規定周回数の1/2以上走行したものをいう。

## 第31条 公式車両検査および車両保管

- 1) 公式車検の日時および場所は公式通知にて通知する。  
**全車、持ち込み車両検査となる。**  
**カート車両は車両検査時において技術委員の点検を受けるものとする。**
- 2) 各ヒート終了時には、必備部品が備わっているものとする。
- 3) 決勝レース終了後は、指定車両に対し車両保管および再車両検査を行なう。
- 4) 車両保管の時間は決勝レース終了後30分以上とし、指定の場所で行われる。
- 5) 技術委員長はスタートした全ての車両に対して検査を行う権限を持ち、技術委員長より検査の指示があった場合は、参加者もしくは、ピットクルーが責任を持って車両やエンジンの分解および組み立てを行わなければならない。
- 6) 本条項の検査に応じない場合は失格となる。

## 第32条 ピットクルーおよびピットエリア、パドック

参加申込時にピットクルー登録をしていない者は、如何なる理由があろうともピットエリアへの立ち入りを禁止とする。ピットエリアへの立ち入りは下記の者が可能となる。

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| 1) 参加ドライバー     | 2) 登録済みピットクルー | 3) 大会役員        |
| 4) プレス（要プレス申請） | 5) 主催者スタッフ    | 6) その他主催者が認めた者 |

パドックエリアにおいて火気および発火物の使用は禁止とする。

# 第4章 抗議に関する事項

## 第33条 抗議

- 1) 「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとする。
  - ①競技に関する抗議：当該、暫定結果発表後30分以内。
  - ②車両に関する抗議：自己のカート車検終了後直後。
- 2) 抗議料は、20,300円。

## 第5章 賞典およびシリーズに関する事項

### 第34条 賞典と副賞

- 1) 決勝の順位によって決定する。
- 2) 賞典は決勝において完走したドライバーに対し行われる。

各大会における賞典対象表は下記の通りとする。

台数	3台～5台	6台～12台	13台～17	18～22台	23台以上
対象	1位まで	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで

### 第35条 シリーズポイント

シリーズポイントはSLカートミーティング規則書 第5章 3. (P46記載) の通りとする。

本シリーズのドライバーに与えるシリーズポイントは以下の基準を適用する。

- ① シリーズ全戦のポイントが合計され、ポイントの多い順に上位とする。
- ② 同ポイントの場合は上位入賞回数が多いドライバーが上位となる。
- ③ 上記②で決定出来ない場合は最終戦の順位で決定する。
- ④ 上記③で決定出来ない場合はポイント取得の早い順に決定する。

※ SL全国大会条件ポイントは、当シリーズ第5戦までに獲得したポイントが対象となる。

※通常ポイント表

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
20P	15P	12P	10P	8P	6P	4P	3P	2P	1P

- ⑤ **各クラス最終戦は、以下の表の通り決勝成績のポイントを1.5倍とする。**

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
30P	22.5P	18P	15P	12P	9P	6P	4.5P	3P	1.5P

### 第36条 シリーズ表彰

各クラスを対象に年間参加台数、成立回数などによりシリーズ戦終了後に各該当者に通知する。

シリーズ戦参戦50%以上のドライバーが対象。

各クラスのシリーズ成立回数が3戦以上開催の場合、シリーズ表彰の対象となる。

SL認定の各クラスチャンピオンにはヤマハKT100SECベースエンジン（クラッチ、セルスターターパーツレス）が授与される。

※ SL認定クラスは、第3条「競技格式・種目・クラス」を参照。

シリーズ表彰対象

延参加台数	30台以下	31～40台	41～60台	61～80台	81～100台
対象	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで	7位まで

延参加台数	101～120台	121～140台	141～
対象	8位まで	9位まで	10位まで

シリーズ年間表彰は、**2020年12月6日（日）**開催予定。 ※詳細は最終戦終了後発表。

## 第6章 ペナルティに関する事項

### 第37条 ペナルティ

- 1) 2020年競技規則に基き、危険・反則行為に対し、ペナルティを課すものとする。
- 2) 妨害行為（プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマン的行為）とみなしたドライバーに対し警告フラッグが提示される。その行為が2回以上におよぶ際は、ペナルティの対象とする。
- 3) 定められた方向とは逆に走行した場合、ペナルティを課すものとする。

### 第38条 その他事項

- 1) 変更事項が生じた場合は、公式通知にて通知する。
- 2) データロガー発信機の設置場所は、最終コーナーのダンロップ看板前とする。
- 3) パドック内は競技車両以外の留置きを禁止とする。その他の車両は全て第2パドックへ駐車すること。  
**周遊道路への路上駐車は禁止。**
  - ① 荷物の搬入は大会当日8：30までに行なうものとし、搬出については全競技終了以降とする。
  - ② 大会前日も上記内容を推奨するものとする。
  - ③ **オーガナイザーが承認したチームオーナー**については車両1台をパドック内に駐車することを許可するものとする。  
ただし、参加台数により駐車できない場合があることを了承しなければならない。
- 4) **パドック内はバイク、自転車、キックボード、ローラーブレード（スケート）等での移動を禁止する。**
- 5) パドック内は喫煙所を除いて禁煙とする。
- 6) 使用済みタイヤ、中古タイヤは必ず持ち帰るものとする。パドック内、ゴミ捨て場への廃棄を禁止する。

集積所に置ける物	紙類、ビニール類、カン、ビン、ペットボトル、廃油、砂利、小さな金属片（車両スクラップ等不可）
持ち帰って頂く物	タイヤ、フレーム、その他家電製品など、エンジン、バッテリー、その他部品

**使用したパドックエリアは、使用後必ず清掃していただくようご協力お願い致します。**

## 第7章 カートに関する事項

### 第39条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、登録、使用できる数は次の通りとする。

対象クラス	シャシー	エンジン	タイヤ
SLカートミーティング	1台	1基	ドライ 1セット
FS-125			ウエット 1セット
MAX		2基	

#### 【エンジン交換規定】

登録したエンジンが故障破損等により技術委員長が走行不可能と判断した場合に限り、1回だけエンジン交換が認められる。故障破損したエンジンも再車検の対象となる。

交換する際は、車検長立会の下で追加登録が認められる。

※ エンジン交換手数料は不要。

※ 次ヒートの出走グリットは最後尾とする。

### 第40条 エンジン封印

全クラスにおいて、エンジン封印が実施される。

シリンダーヘッド・シリンダーヘッドナッドには車検の際の封印の為にそれぞれ1つ施さなければならない。

**車検時においてエンジンの封印が実施される。封印後はエンジンの分解は行ってはならない。□**

**公式練習開始時間前までは、技術委員長の承認のもとにエンジンおよびマフラーの封印の解除、および再登録または再封印が認められる。**

### 第41条 ガソリン検査

ガソリンおよびオイルについて、予告無く抜き打ち検査（タンク内の燃料を採取する等）を行う場合がある。この場合、エントラントは必ずその指示に従わなければならない。

## 第42条 エンジンオイル

通常市販されているもののみとし、それ以外の添加物の使用は一切認められない。

## 第43条 指定タイヤ

競技に使用する各クラスのタイヤは、次のものとする。

クラス	タイヤ規定			
	スリック		レイン	
	銘柄	コンパウンド	銘柄	コンパウンド
YAMAHA TRYカデット	ヨコハマ	SL-J (ADJ)	ヨコハマ	SL-03
YAMAHA カデットオープン				
YAMAHA TIAジュニア	ダンロップ	SL-FD	ダンロップ	SL-W2
YAMAHA TIA				
SUGO FDオープン				
YAMAHA SS	ブリヂストン	SL-17	ブリヂストン	SL-94
YAMAHA スーパーSS				
MAX	MOJO	D5	MOJO	W5
PRD AVANTI	ブリヂストン	SL-17	ブリヂストン	SL-94
地方選手権 FS-125	ブリヂストン	YPC	ブリヂストン	YPP

タイヤについて、予告無く抜き打ち検査(硬度計による検査等)を行う場合がある。(タイヤソフナー使用防止対策)

※ この場合、エントラントは必ずその指示に従わなければならない。

## 第44条 最低重量

最低重量は以下の通りとする。

クラス	最低重量
YAMAHA TRYカデット	110kg
YAMAHA カデットオープン	
YAMAHA TIAジュニア	130kg
YAMAHA TIA	140kg
SUGO FDオープン	145kg
YAMAHA SS	145kg
YAMAHA スーパーSS	150kg
PRD AVANTI	155kg
地方選手権 FS-125	
MAX	160kg

## 第45条 外装品・リアバンパー

前後輪ともカウル等の外装品とリアプロテクションの装着を義務付けます。

## 第46条 ネックガードおよびリブプロテクター

小学生(12歳以下)のドライバーは、ネックガードとリブプロテクターの装着を義務付ける。

中学生(13歳以上)のドライバーは、ネックガードとリブプロテクターの装着を推奨する。

## 第47条 車載カメラについて

SUGOカートレースシリーズにおいて車載カメラの取付は禁止とする。

## 第8章 クラス別規定

クラス	エンジン規定		
	機種	改造	キャブレター
YAMAHA TRYカート	日本国内仕様 KT100SEC クラッチ付き セルスター付き	切削、付加等一切の変更、 改造及び純正部品以外 への交換は禁止。	WB3A、WB21、WB33改造禁止 部品変更禁止
YAMAHA カートオープン			小径14.5Φmmテーパジョイント装着 品番指定【7YU-13586-09】
YAMAHA TIAシニア	日本国内仕様 KT100SD KT100SC KT100SEC ※中学2年生以下はSEC限定 ※ <b>中学3年以上は</b> <b>SLクラッチのみの装着可</b>	切削、付加等一切の変更、 改造及び純正部品以外 への交換は禁止。  エンジン内部、規定数値の スキッシュエリア確保維持	WB3A、WB21、WB33改造禁止 部品変更禁止 19.8Φmmテーパジョイント装着 品番指定【7YA-13586-00】
YAMAHA TIA			WB3A、WB21、WB33改造禁止 部品変更禁止 26Φmmジョイント装着 品番指定 【787-13586-00】(オレンジ色) 【787-13586-01】(黒色)
SUGO FDオープン			
YAMAHA SS			
YAMAHA スーパーSS			
MAX	ROTAX FR125MAX	切削、付加等一切の変更、 改造及び純正部品以外 への交換は禁止。	純正モデルキャブレター (VHSB34)改造禁止
PRD AVANTI	125A Avanti		純正ティロットソリキャブレター (HL360A) 改造禁止
地方選手権 F S-125	<b>全日本カート選手権 F S-125部門に準ずる。</b>		

### 第48条 SUGO FDオープン 車両規定

SUGOカートレースシリーズSSクラス車両規則に準ずる。

### 第49条 SUGO FDオープン シャシー規定

※ホイールサイズ規定はなくなり、タイヤを付けた最大幅とする。

フロントタイヤ : 135mm以下

リアタイヤ : 215mm以下

### 第50条 SLカートミーティングクラス

第1戦(3月29日)よりすべてのクラスの吸気消音器(インテークサイレンサー)は、ヤマハ純正吸気消音器(7YA-14410-01)を必備とする。吸気消音器本体の構成部品は取付け口のゴム部品も含めて純正品であること。

尚、これら構成品の切削・加工・改造は一切禁止とする。 SL-info\_No.19004

**その他、詳細に関しては「2020年SLカートミーティング規則書/車両規定」を確認すること。**